

〈2007年8月28日(火)、於東京女子大学〉東女レーモンドの会のメンバーはたびたび東寮を視察していたが、この日、永井路子氏はじめメンバー6人が出向いた。湊晶子学長は休みだったが、席を外していた桃井明男事務局長と行き会い、抗議。解体現場の案内を依頼した。(写真・文：堀江優子)

東寮解体目撃—① 解体現場の塀の前



東寮周辺に塀が巡らされた塀。桃井事務局長に行き会い、抗議。



塀の隙間から中の様子を撮影。



塀の間から最大限ズームアップして東寮を望む。



旧体育館前から東寮の塀を望む。塀の前では抗議が続く。

東寮解体目撃—② 事務局長の先導で解体現場に入る



昼休み中で工事作業は中断。桃井事務局長の先導で塀の中へ。



伐採された木の残骸の向こうに安井記念館を望む。



東寮正面玄関前。コンクリートの瓦礫は小道の舗装をはがしたもののか？



正面玄関に張られた針金の一部を外して、中へ誘導してもらう。

東寮解体目撃③ 東寮内部



正面玄関に入って右手の部屋。



窓枠は一部が外されている。



正面玄関に入って左手の部屋。ドアはすべて外されている。



ヒーターが残る。



2階の床はかまぼこ状の鉄板張って、その上にコンクリートを打つ合理的工法（シンポジウム藤岡先生説明）。それが1階の天井に見える。



寮の中庭。木にテープが巻いてある。



部屋の壁の断面。



東寮解体目撃④ 礎石跡・集会室・連結部分



東寮正面から集会室の方へ回る。壁面に礎石を外した跡。



礎石を外した跡。

解体前の写真



これは解体前の集会室へ至る場所。左奥に集会室が見える。



左の写真と同じ場所の解体。3本の木々の位置を参照。

東寮解体目撃⑤ 外観



新体育館の階段から望む。東寮の美しい瓦はまだ外されていない。



東寮と集会室の連結部分。



東寮前の木々はすべて伐採され、空虚な更地になっている。



取り外されたドアが積み上げてある。